

すべての施術版

操作ボタン	詳細
<p>【症状管理】</p> <p>↓</p> <p>[過去施術]</p> <p>↓</p> <p><b>経過観察</b></p> <p>↓</p> <p><b>検証動作の確認</b></p> <p>↓</p> <p>対応</p> <p>↓</p> <p>整体開始</p>	<p>【症状管理画面】 → [患者検索] → [採番]</p> <p>[前回] + [対象筋表示] で対象筋表示します。</p> <p>対象筋表示画面左上の検証動作のコメントを確認</p> <p>※良好な場合 → 過去の表示画面のまま加療する。                  ※不良な場合 → 検査をやり直す。</p> <p><b>【経過良好の判断と対応】</b></p> <p>= 前回施術の直後 1~2 日の様子 [↑]</p> <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・症状の軽減、改善が認められる</li> </ul> <p>※瞑眩（好転反応）は改善傾向とする</p> <p>※日数が経過して再現していても、直後は楽であった</p> <p><b>※動作時痛が強い時は「+安定」をつけない</b></p> <p><b>基本は「+安定」をつけて、身体重心の安定要素も対応すると良い。</b></p> <p><b>①痛む部位、痛み方、痛みの種類（伸収痛・短収痛）が同じ、かつ、経過良好</b></p> <p>→ <b>前回と同じ設定で加療</b>する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★動作検査 → <b>変更しない</b></li> <li>★目的設定 → <b>変更しない</b></li> </ul> <p>※検証動作で、水平面が変わることがあるが、前回のまま</p> <p><b>※徐々にでも症状に改善傾向が認められる場合は、前回のまま加療してください。</b></p>

②痛む部位、痛み方、痛みの種類（伸収痛・短収痛）が**同じ**、かつ、**経過停滞**

- 1.動作検査 → **やり直す**
- 2.目的設定 → **設定をし直す**

③痛む部位、痛み方、痛みの種類（伸収痛・短収痛）が**異なる**

- 1.動作検査 → **やり直す**
- 2.目的設定 → **設定をし直す**

### 【経過不良の判断と対応】

- ・ **全く効果が得られない** = 適応症状が慎重に判断する（2回試行してみる）
- ・ **返って症状が強くなった** = 変化があるということは、**適応な場合が多い**

- 動作検査の方法 → **変更する**（運動機能検査 ⇄ 関節運動検査）

※臨床で迷うときなど、遠慮なく事務局までお問い合わせください